

アグリ | ワーク | ポイント



静岡営農経済センター 佐野博哉

刈り取り後の水田管理

刈り取りも終盤になってきました。作業終了後は、機械の整備や点検、畦畔やほ場整備を進め、次年度に向けて管理を行ってください。また、収穫した米は食味や鮮度を維持するために、適正に保管しましょう。

米の保存は専用の保管庫で

玄米の保存は、高温多湿と直射日光を避け、気温や湿度の増減が少なく、15℃程度のできるだけ涼しいところで保管してください。玄米でも気温が20℃を超えると途端に味が落ちます。米の品質管理には充分注意しましょう。米の保管には低温貯蔵庫の「菜庫」がおすすめです。

土壌改良資材を積極的に施用しましょう

ケイ酸資材を施用すると登熟が向上し、粒太りが良くなります。発根も促進し、茎や葉を丈夫にするので、倒伏や病害虫に強くなります。

ケイ酸加里プレミアムA 34 60kg/10a

ケイ酸加里は、く溶性のため必要なだけ吸収されます。雨水によって流れ出すことがなく、ケイ酸と加里の相乗効果で根が活性化します。

とれ太郎 80kg/10a

作物へのケイ酸吸収が高く、リン酸や苦土、石灰を含むので、稲を健全に育てることができ、収量や品質の向上につながります。

オイスターミネラル 100kg/10a

カキ殻で根張りが良く、吸収性の高いケイ酸が効果的に効き、強い稲づくりができます。

種子更新をおすすめします！

水稻の種子を長年自家採取していると、品種特性の劣化や変異、混種で、生育にばらつきがでる可能性があります。採種ほ場の証明書付き種子を購入し、種子更新をしましょう。購入種子は、県の指定ほ場でその2世代前の原種を系統選抜して厳密な審査のもと生産しているのです。純粋性がより高くなっています。購入種子については、最寄りの営農経済センターへお問い合わせください。